

基調講演

「実感！アクティブ・ラーニング！」

＝限られた授業時間の中でどのように
アクティブ・ラーニングを実践するのか＝

主体的・対話的で深い学びの実現を目指しているアクティブ・ラーニングの最終目標は、一人ひとりの優秀で活動的なアクティブ・ラーナーを育てることです。教育現場では、真面目で熱心な先生ほどよりよい授業展開を望み、授業前準備に時間と労苦をかけます。そして授業当日は、限られた時間内に用意したものをどう消化するかが目的になりがちです。目の前の学生よりも授業設計や流れを追うことに没頭してしまう。これは本来の学び、アクティブ・ラーニングの主旨とかけ離れています。どうすれば、効果的なアクティブ・ラーニングが実践できるのか。

教育現場での実例を基に、実践で役立つアクティブ・ラーニングの活用方法を学びます！

講演概要

アクティブ・ラーニングという言葉が教育界に普及してから数年が経ちますが、依然としてアクティブ・ラーニングという学習形態に注意が行きがちです。そこで本講演では、何のためにアクティブ・ラーニングを行うのかを確認したうえで、模擬授業を通じてアクティブ・ラーニングの実際を体験し、学生目線で授業設計や学習支援の留意点をまとめます。

- ＜背景説明＞アクティブ・ラーニングの概要復習
- ＜模擬学習＞アクティブ・ラーニングの体験
- ＜振り返り＞学生目線で効果的な学習を考える

山地弘起先生 プロフィール概要

独立行政法人大学入試センター試験・研究副統括官

専門領域は、教育心理学、身体心理学。主体的学びに向けた教育開発とその評価研究。1959年生まれ。東京大学法学部政治コース卒業。1989年同大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学（教育心理学専攻）。東京大学教育学部助手、メディア教育開発センター助教授、オックスフォード大学上級共同研究員、長崎大学大学教育イノベーションセンター教授等を経て、2016年4月より現職。教育学修士。PhD（身体心理学）。早稲田大学、学習院大学非常勤講師。

＜主な著書＞

- ・「かかわりを拓くアクティブ・ラーニングー共生への基盤づくりに向けてー」
（編著）ナカニシヤ出版
- ・「学生の納得感を高める大学授業」（共編著）ナカニシヤ出版
- ・「授業評価活用ハンドブック」（編著）玉川大学出版部 他多数